

スポーツに関する支出

・ 家計調査（二人以上の世帯）結果より ・

平成18年はこれまでに野球の国際大会WBC（ワールド・ベースボール・クラシック）やサッカーのワールドカップドイツ大会など大きなスポーツイベントがありました。10月はスポーツのシーズンでもあります。皆さんの世帯ではスポーツをしたり、見に行ったりするのにどのくらいお金をかけていますか？

そこで、今月は家計調査の結果からスポーツに関する支出を見てみましょう。

ハード系は1・4・12月に、ソフト系は5月に支出が多い

1世帯当たりのスポーツ関係費^注への支出額について、ハード系（商品）とソフト系（サービス）に分けて月別（平成15～17年平均）に見てみますと、ハード系（商品）では1月、4月及び12月が多くなっています。一方、ソフト系（サービス）では暖かくなりスポーツ観戦や運動がしやすくなる5月が最も多くなっています（図1）。

注）ここでは運動用具及びアウトドア用品などの「運動用具類」をハード系（商品）、「スポーツ月謝」、「スポーツ観覧料」、「スポーツ施設使用料」の3品目をソフト系（サービス）とし、これらの合計をスポーツ関係費としています。

70歳以上のソフト系支出が増加

次に、平成12年と17年について世帯主の年齢階級別に年間支出金額を見てみますと、両年とも支出金額は40～49歳の世帯が最も多くなっています。

また、平成17年のハード系（商品）の支出金額はすべての年齢階級で12年に比べて減少しています。一方、ソフト系（サービス）では70歳以上の世帯の支出金額が大きく増加しています（図2）。

スポーツ観覧料はプロチームのある市が上位に

最後に、スポーツ観覧料の年間支出金額（平成15～17年）について県庁所在市別に見てみますと、プロ野球チームやプロサッカーチームのある市が上位3位までを占めており、チームに目立った動きのある年に支出金額のランクが上位へ動く傾向がうかがわれます（表）。

sportという英語は、disport（気晴らしをする）という単語の頭音が消失したものとされています（ジーニアス英和辞典ほか）。

図1 スポーツ関係費の月別支出金額
（平成15～17年平均）

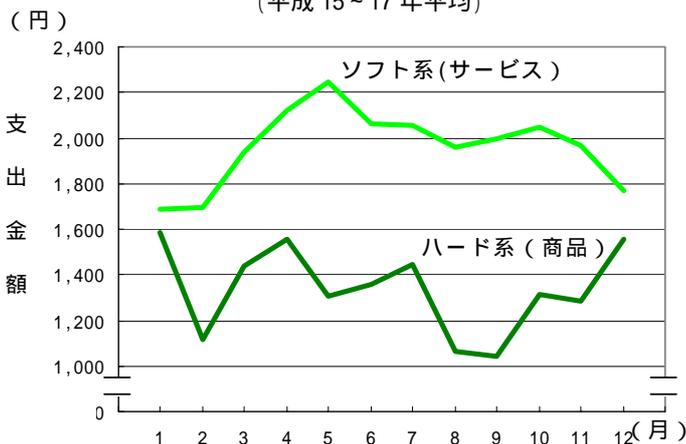


図2 スポーツ関係費の世帯主の年齢階級別
支出金額(平成12年・17年)

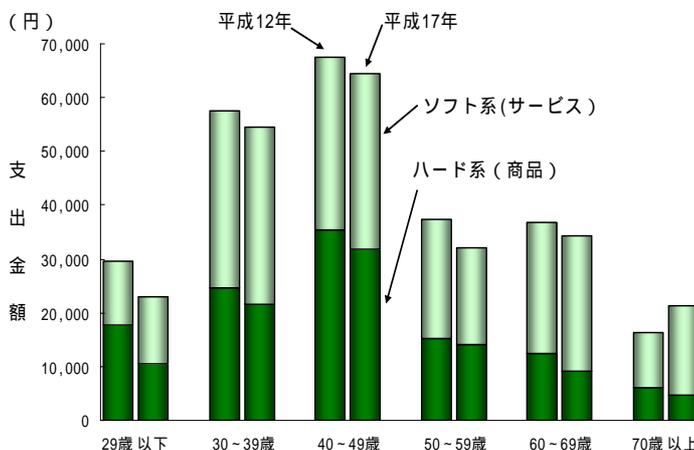


表 スポーツ観覧料の県庁所在市別
支出金額ランキング(平成15～17年)

	1位	2位	3位
平成15年	さいたま市	新潟市	佐賀市
16年	新潟市	さいたま市	札幌市
17年	仙台市	大分市	神戸市

* 上記市にあるチームの最近の主な動き
新潟市：アルビレックス新潟 J1 リーグ昇格、仙台市：楽天ゴールデンイーグルス新設、さいたま市：浦和レッドダイヤモンズ J1 リーグ 2nd ステージ優勝、大分市：大分トリニータ J1 リーグ残留、札幌市：日本ハムファイターズ札幌移転など